

アントレプレナーシップ入門

—チャレンジ課題への取り組み方—

第 11 章 お金を調達する

① あなたが関心のある日本の成長企業を取り上げ、ベンチャー・キャピタルからの資金調達を実施しているかどうかを調べてみよう。

第 1 章のチャレンジ課題への取り組み方で説明した目論見書には、新規公開企業の資金調達に関する情報も記載されています。目論見書を入手して、新規公開企業が株式公開までにベンチャー・キャピタルからの資金調達を行っているかどうか、行っているとしたらどのようなベンチャー・キャピタルから、いつ、どの程度の金額の調達を実施しているかを確認してみよう。日本のベンチャー・キャピタル業界については、日本ベンチャーキャピタル協会の下記のウェブサイト参照。

<http://www.jvca.jp>

個別のベンチャー・キャピタル会社のウェブサイトから、IPO などによって資金回収済みの投資先企業や現在の投資先企業の情報を見てみよう。たとえば、ジャフコのウェブサイトは下記を参照。

<http://www.jafco.co.jp/>

② ベンチャー・キャピタルからの資金調達を利用せず、銀行借入りに依存して急成長を遂げた企業があるかどうかを調べてみよう。

目論見書に記載されている簡単な財務諸表を見ると、負債による資金調達（たとえば銀行借入れ）にどの程度依存しているかを見ることができる。新規公開企業には、ベンチャー・キャピタルからの出資など株式金融（エクイティ・ファイナンス）を積極的に利用してきた企業から、銀行からの借入れなど負債金融（デット・ファイナンス）を積極的に利用してきた企業まで、さまざまなタイプがある。デット・ファイナンスを積極的に利用してきた企業にはどのような特徴があるかを分析してみよう。

※著作権は著者に帰属します。

※私的使用および、大学等の講義・ゼミ等の教育目的に限って使用できます。